

請願審査

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願書

請願者

ときがわ町玉川923-4  
埼玉土建一般労働組合同比企西部支部  
折原 官

請願結果

厚生文教常任委員会に付託し、委員長報告は「不採択」でした。本会議での審査も「不採択」となりました。

審議した議案と議員の賛否をお知らせします

議案名	議員名	審議結果	笠原武	井口亮一	笠原規弘	田中照子	高瀬勉	山口勝士	高橋さゆり	松本修三	金子美登	松葉幸雄	大戸久一	島崎隆夫	柴崎勝	宮澤幹雄	戸口勝	根岸成美	
課設置条例の一部を改正する条例制定 ※平成29年度に防災地域支援課を新設		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定 ※教育相談室等の指導員報酬を月額から日額に変更		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
一般職の職員の給与に関する条例及び小川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定 ※給料を平均0.2%引き上げ。子育て世代の扶養手当が充実等		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
税条例の一部を改正する条例制定 ※免税されている台湾の機関で得た利子・配当が課税の対象に		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例制定 ※支給制限施設に障害児入所施設等を追加		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度一般会計補正予算(第3号) ※予算に5365万5000円を追加。総額は90億9321万8000円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) ※予算に1億1995万円を追加。総額は42億3203万8000円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) ※予算から116万円を減額。総額は3億4913万9000円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号) ※予算に3255万8000円を追加。総額は25億8664万円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) ※予算から1291万7000円を減額。総額は7億1596万6000円		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) ※職員給与費を増額		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度水道事業会計補正予算(第2号) ※職員給与費を増額		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教育委員会委員の任命 ※よしだのまさ吉田徳匡氏を任命		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
庁用自動車への追突事故の物件損害に関する和解 ※追突され全損した庁用自動車に対する物損の和解		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
小川中央陸橋耐震補強工事請負契約の締結 ※請負者 ヤマグチ工務店。代金 6129万円。工期 平成28年度末まで		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願審査結果																			
建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願書		不採択	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-

※(○は賛成、×は反対、欠は欠席)議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

Main question Pick up

12月定例会から質疑 Pick UP!

課設置条例の一部改正

防災地域支援課を新設

Q 本年度に機構改革を行なったばかりであるが、なぜ、この時期に改正するのか。また、事務分掌の再編でどのようなことを担当していくのか。

A 昨今の異常気象などを踏まえ、住民の生命や財産等を守るために対策を講じていかねばならないと考えました。それと同時に、有事の際の体制強化と縮小の観点から地域の自主防災組織の育成と、共助社会を醸成していく必要性を総合的に判断して変更しました。また、地域との連携強化の中で、防犯や交通安全の確

認と自治振興の推進、住民からの相談や要望を受け付け、処理をしていきます。

Q 防災地域支援課の設置により、役場の体制と町民にどのような影響・変化があるのか。

A 発災時の迅速な対応と指揮系統の強化をすることにより、町民の安全・安心が図られると考えます。また、行政区のコミュニティ推進や、町民相談事業の充実を図っていきたく考えます。

議会は議論の場 町民に資する議論は大歓迎(町長の発言から)  
課設置条例の一部を改正する条例制定の審議は、冒頭に「議案の範囲を超えた質疑内容」を理由に、執行側が答弁を留保。計4回で86分間にも及ぶ休憩を要しながら、採決に至りました。休憩中には緊急の議会運営委員会を開催。正副町長を参考人招致し、その姿勢をたどりました。  
※紙面の都合上、やり取りの詳細は会議録で確認してください。(今定例会の会議録は2月末ごろから見られます)  
※対策については、議会運営委員会で行っています。

平成28年度補正予算

子育て支援の充実へ

Q 子育て支援施設整備推進事業費として、873万8000円の設計委託料が示されたが、事業の詳細は、

A 国の地方創生拠点整備交付金を活用し、地域における子育て支援の拠点施設として、子育て支援センターの整備を考えています。活用のアイデア・イメージとしては、6点に及び施設の改修を検討しています。

Q 地方創生の柱である人口減対策において、重要課題の「子育て支援」だが、担当課に限らず全庁的な取り組みとしての事業提案と捉えてよいのか。

A 全体の意思・方向性は、交付金の決定を見るまで申し上げづらいところですが、厳しい財政状況では、厳しい財政状況ではありますが、「選択と集中」の観点から政策判断・決定がされていくものと考えています。



※①総合窓口の設置(ワンストップ化) ②飲食可能な子育てサロンの開設 ③検診・療育スペースの新設 ④多世代交流スペース設置に向けたエレベーター新設 ⑤空調設備・トイレ・授乳室の改修 ⑥離乳食提供可能な子供福祉避難所としての改修

今定例会では、平成28年度一般会計・各特別会計の補正予算や、教育委員会委員の任命など、15議案を審議。すべて原案のとおり議決しました。  
一般質問は12人が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし政策提言を行ないました。